

DECISION

支援者に対する報告

Request No.: 09

Event: 2022 近畿北陸学生ヨット選手権団体戦 Sailing Event Race Number: 5,6,7

Hearing Schedule: 2022-09-24 19:10

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 09: Race Committee

Support Person - 京都産業大学支援艇 クルーザー 杉本 行隆

Witnesses: 京都産業大学 松原さん

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required

Red Flag Displayed: No

Decision: N/A 支援者への審問であり、RRS63.5(抗議の有効性)は適用不要

PROCEDURAL MATTERS

被抗議者は交通渋滞により予定時刻に審問室に到着する見込みがなかったため、電話によるスピーカー通話による審問の参加を認めた。審問開始時より、支援者が属する団体責任者(当該支援艇には乗船せず)が証人として同席した。審問途中に被抗議者が審問室に到着したため、審問室に入室を許可し、審問を続行した。

FACTS FOUND

RCは帆走指示書22.3、添付書Cで艇がレースをしているエリアを定め、支援艇がその外側にいることを要求していた。杉本行隆さん、吉野司さん、船原清隆さん、森本雅夫さん、田中豊二さんが乗船していた京都産業大学支援艇『ボーイズ』は、第5レースの470級のスタートから5分後、かつ同レースのスナipsスタート予告信号掲揚後に、進入禁止エリアの認識がないまま風下側アウトターと第3マークの間を通過した。その時、RC艇が、当該支援艇に対してこの先のレースエリアに入らないよう口頭にて警告を行った。当該支援艇は、第6レースおよび第7レースのレース中、アウトターループのコース内に進入した。いずれのレースもレース艇や運営に支障は与えず、安全上の問題も生じなかった。審問の最後に、被抗議者は違反行為を反省し、レース委員会に対して謝罪を行った。

Diagram: Diagram not endorsed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: SI22.3

京都産業大学支援艇『ボーイズ』は両クラスのレース中にレースエリア内に進入したため、SI22.3に違反した。

DECISION

Date & Time: 2022-09-24 20:43 JST

本大会DPガイドに基づき、当該支援者へのペナルティをレベル3とした。ペナルティは、当該支援者5名および当該支援艇の、9/25の出艇を終日禁止とする。

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Takeshi Hosokawa (JPN)

Committee Members: Ayako Shima (JPN), Hikaru Tagaya (JPN)

Printed: 2022-09-25 12:40